



## 「生徒の信条」とは？

詫間中学校の正門を入ったロータリーにある石碑に、「生徒の信条」と題した文章が刻まれているのを知っていますか。右の写真がそれです。この石碑は、職員室や1・2年の教室がある校舎が造られたのを記念して昭和63年3月に建てられました。

### 生徒の信条

限りなき前進を  
おのれの出しきって  
みんなの出しあって  
日々心豊かにたくましく



「信条」とは、「考えたり行動したりするうえで、基本としているやり方」のことです。つまりこの信条には「**詫中生には、自分の力を出しきり、また、みんなで力をあわせて、しっかりと前進して欲しい。そうすれば、心豊かでたくましく日々を送ることができる。そういう生き方を身に付けて欲しい。**」という願いが込められているのですね。

今週は、今年度に入って初めての定期テスト、1年生にとっては中学生として初めての1学期中間テストがあります。また、それが終われば、体育祭の練習が本格的に始まり、来週末には体育祭が開催されます。一つ一つが皆さんを成長させる大切な行事です。行事ごとに、自分の力を出しきって、みんなの力を出しあって、ともに前進することができる詫中生であってほしいと願っています。

## 校庭にボランティアの輪!

ゴールデンウィーク明けの5月7日（火）に、体育委員会の呼びかけで運動場の溝さらいボランティアが行われました。75名の有志が集い、1時間近く一生懸命に運動場の溝掃除をしてくれました。そのおかげで、活動の前後では、溝の中が見違えるほどきれいになりました。これから体育祭に向けた練習が始まりますが、雨が降っても運動場の水はけが良くなりしっかり練習ができそうです。ボランティアに参加してくれた皆さん、本当にありがとうございました。

